

コミュニティ・アカデミー上幟

平成27年度

秋期講座内容のご紹介

「広島歴史と文化」セミナー ●座長 / 郷土史家 田邊良平 輪講形式

受講料 毎回500円 (当日お申し込み) 曜日 水曜日 時間 18:30~20:00 定員 30人

◆1回目 / 11月11日 築庭400年 縮景園の歴史と文化

- 講師 観光アシスタントひろしま副会長 入川 実
- 内容 日本の庭園の中での縮景園の位置づけ / 築庭者 上田宗箇 / 縮景園の築庭の思想 / 縮景園の歴史の変遷 / 観光客を案内して
※<http://www.manabi-kaminobori.com>

- 2回目 / 11月25日 明治・大正期、広島を元気にした財界人(郷土史家 田邊良平)
- 3回目 / 12月 9日 広島高等師範学校の役割 (広島大学教授 山田浩之)
- 4回目 / 2月24日 比治山のフランス人墓地 (広島大学名誉教授 原野 昇)



「旅で学ぶ日本人のこころ」講座 ●チューター / 香川正弘 講義+討議 毎週1回 計6回構成

受講料 12,000円(全6回分) 曜日 火曜日 時間 18:30~20:00 定員 30人
ご希望の講座だけ受講することもできます。1回2,500円(当日お申し込み)

チューター 香川正弘

1942年、広島市生まれ。広島大学大学院教育学研究科博士課程単位取得中途退学、教育学博士(広島大学)。上智大学名誉教授、全日本大学開放推進機構理事長。『よくわかる生涯学習』(共編、ミネルヴァ書房)。趣味は社寺巡り。「NPO法人全日本大学開放推進機構」HP、<http://www.uejp.jp/>



出典：広島市立白島国民学校(昭和19年3月)

講座の趣旨

あなたは「何がしたいですか」と聞かれると、「旅」をしたいと言う人が多いものです。旅は、「生きた書物を読む」こと、読書は「時間と空間を越えた旅」であるといわれており、人にとって魅力的な自己学習です。講義では、地域社会の理解の仕方、旅の方法について話をし、自己発見の旅をお勧めしたいと思います。参考文献『地図で訪ねる歴史の舞台』(帝国書院)

講義の内容

- 11月17日 第1講 旅の方法論 地域を発見する視点
- 11月24日 第2講 神社 地域の人々の心の拠り所
- 12月 1日 第3講 寺院 地域の人々の相談所
- 12月 8日 第4講 合戦場の跡を訪ねて 壇ノ浦、関ヶ原
- 12月15日 第5講 盆踊り口説 鈴木主水、宮島八景
- 12月22日 第6講 郷土愛を育てる校歌 本川小学校、木町通小学校

「フランス中世の文学」講座 ●講師 / 原野 昇 講義 毎週1回 計6回構成

受講料 12,000円(全6回分) 曜日 水曜日 時間 13:00~14:30 定員 30人
ご希望の講座だけ受講することもできます。1回2,500円(当日お申し込み)

講師 原野 昇

1943年、兵庫県生まれ。広島大学大学院文学研究科博士課程中途退学、文学博士(パリ大学)。広島大学名誉教授、広島大学マスターズ副代表、広島日仏協会副会長。著書『狐物語』(原野他訳、岩波文庫)、『芸術のトポス』(共著、岩波書店)、『フランス中世文学を学ぶ人のために』(編著、世界思想社)他。「原野昇のホームページ」<http://home.hiroshima-u.ac.jp/nharano/>



講座の趣旨

本講座では、フランス中世文学(10-15世紀)に描かれた、社会と人間の心のあり様(心性)を中心に引き上げ考えてみたいと思います。これは、私たちが、『古事記』、『源氏物語』、『平家物語』、『徒然草』、『太平記』などに親しむことによって、日本人の心性を探るのと同じような学習です。フランス中世の社会と人々の暮らしを知ることは、国際化社会を生きている私たちに、新しい西欧の見方を提供してくれると思います。フランス語やフランスの歴史に詳しくなくても、わかりやすく講義をし、手引きしたいと思います。

講義の内容

- 11月11日 第1講 ヨーロッパ中世から現代を考える 中世は暗黒時代か?
- 11月18日 第2講 『ロランの歌』 キリスト教徒の聖地巡礼
- 11月25日 第3講 『ロランの歌』 口承文学の上演
- 12月 2日 第4講 『トリスタンとイゾー物語』 伝説の中世社会への適応
- 12月 9日 第5講 物語作家 クレチャン・ド・トロワ 宮廷文化と騎士道
- 12月16日 第6講 中世物語の魅力を探る

講義を通してのディスカッション

